

## 5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	○	○	○
	やや良く なっている	一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・わずかではあるが飲食店でのアルコール類の販売量が増加している。
		スーパー（店 員）	お客様の様子	・最近では年末年始等の予約で高価な物を買う客が増加しており、客単価が上昇している。
		スーパー（営業 企画）	単価の動き	・単価の高い商品の動きが良くなっている。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・来客数がやや持ち直してきており、たばこ以外の商品も前年同月を上回るようになってきている。
		コンビニ（商品 開発担当）	販売量の動き	・プロ野球関係のチケット販売が好調である。前年のたばこ値上げ時の反動でたばこが好調のため、全体的に売上が伸びている。ただし米飯商品は厳しく、惣菜など日持ちする商品が好調となっている。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・新型車の投入効果がまだ続いている。また、エコブームにより低燃費の車に人気がある。
		乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・全体的に客は値段に厳しいが、今月の販売台数は良く、景気は良くなっている。
		乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・新車販売で受注量が伸びている。
		その他飲食〔仕 出し〕（経営 者）	販売量の動き	・東日本大震災の影響などの要因は少しずつ薄れつつあり、購買意欲が高まりつつある。
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・3か月前に比べて前年との売上の減少幅が減ってきており、11月、12月は前年と同じ予約数を得ている。来客数の動きからやや良くなっている。
		都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・宿泊は稼働が回復傾向にあり良くなっている。ただし価格は上げづらく、宴会は依然として低迷している。忘年会も会費5000円を切る低価格志向となっている。
		旅行代理店（従 業員）	お客様の様子	・客からの旅行申込や出張の切符手配は増えている。社員旅行も実施する企業が多くなっている。底は脱し、回復途上にあることが感じられる。
		タクシー運転手	単価の動き	・今月半ば過ぎから、飲んで帰る客が中距離、長距離共に増加している。
タクシー運転手	販売量の動き	・今月になって、販売量が前年に比べて増加している。		
変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・来客数に比例して売上が5%減少している。	
	商店街（代表 者）	お客様の様子	・消費マインドが少し改善してきている。	
	商店街（代表 者）	販売量の動き	・拠点駅周辺の売店は前年同月比を上回っているが、郊外店は伸び悩み、全体的には変わらない。このような状態がここ2～3か月変わらず続いている。	
	一般小売店〔生 花〕（経営者）	お客様の様子	・必要なものは買うが、余分なものに対しては財布のひもが固い。企業からの注文が特に少なく、会議や来客を迎えるための花は節約することが多くなっている。	
	一般小売店〔自 然食品〕（経営 者）	お客様の様子	・今月は来客数が少ない日が多く、購買意欲に慎重さが目立つ。基本的に高額商品は控える傾向にある。	
	一般小売店〔時 計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い状態が続いている。	
	一般小売店〔薬 局〕（経営者）	来客数の動き	・来客数の増加、客単価の上昇は見られず横ばいとなっている。他業種の経営者の話を聞いても悪い状態である。過疎化により、経済は伸びるどころか低下の一途をたどっている。	
	一般小売店〔食 品〕（経営者）	来客数の動き	・11月は寒暖の差が激しく、来客数も日によって変動したため品ぞろえに苦労した。前年比でみると108%の売上となっているが、3か月前と比べると変わらない。	
	一般小売店〔惣 菜〕（店長）	販売量の動き	・今月はプロ野球関連のセールなどがあり一時的に集客があったが、通して見れば前後の買い控えムードを含めそれほど伸びていない。ただし、前年と比べて極端に悪いということではない。	

百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平日の客は見てはいるのだが、土日は家族で来店して購買意欲も高くなっている。売上が予算を超えており、結果はプラスマイナスゼロとなっている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・気温が高いこともあり、防寒類やコート類の動きが悪い。来店しても購入には至らない。
百貨店（企画担当）	販売量の動き	・今月は気温が高い日が続く、例年であれば防寒アイテムが売れる時期になっても動きが鈍く、売上は伸びていない。
百貨店（経理担当）	単価の動き	・気温の低下に伴い、冬物衣料がようやく動き出した。お歳暮商戦については客単価が下がっており、盛り上がりには欠けるスタートとなっている。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・プロ野球の優勝セールやカード顧客の優待イベント等で月初は好調な動き出しであったが、途中、日本シリーズ後のセールに対する期待による買い控えが生じた。日本シリーズ後はセール、通常販売共に動きが回復し、ショップブランドのイベント等もあって対予算・対前年共に何とか達成の見込みであるが、季節商材の動きが良くなる時期に買い控えが重なってしまい、非常に厳しい状況である。
スーパー（経営者）	単価の動き	・日用品の販売において、大型店や中小店で価格破壊が起きており、消費者が振り回されている。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・悪い状況が続いているが、季節商材の動きは若干良い。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・来客数は増加しているが、売上増には至らず、3か月前と比べて変わらない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・依然として野菜の価格が不安定ななかで、あえて低価格を訴求して集客を図っている。安くても必要ない物は買わない傾向がみられる。
スーパー（店長）	単価の動き	・買上単価が低下しており、回復傾向にない。ギフト等の単価は特に低下傾向となっている。
スーパー（店長）	単価の動き	・来客数は若干増加しているが、客単価が低下している。
スーパー（店員）	お客様の様子	・大型店が改装オープンしたが、思ったほど客の流れは変わっていない。客がチラシの格安商品のみを手取る状況は相変わらずであり、買い控えはまだ続いている。どんなに安くても必要な分だけを買う様子が見受けられる。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・特売チラシを入れた日は来客数が増加するが、入れない日は増加しない。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・来客数の動きは、前年並みで推移しており、3か月前と比べても変わらない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上は前年の水準をクリアしているが、大幅な改善はみられない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が4%程度減ったが単価の下げ幅は少なく、何となく現状を維持している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・ここ2、3か月の消費マインドは変わっていない。無駄な物は買わない、夜遅くまで飲食しない様子がうかがえる。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客単価は戻りつつあるが、来客数の減少がそのまま売上減少につながっている。
衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・安くて定番のものが売れている状況。少し高めのものを求める客も増え始めているがまだ低調である。
衣料品専門店（経理担当）	販売量の動き	・10月の売上高は前年比6.2%増で、特殊要因を除くと1.5%増となっている。同様に来店客数は2.0%増で例月に比べやや良い。ただし今月の数値は前年比マイナスで推移しており、一進一退となっている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・前年はエコポイントの駆け込み需要で良かったが、今年は売行きは前年並みで変わらない。
乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・依然として価格を抑えたものを希望する客が多く見受けられる。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注はハイブリッド車を中心に動いている。客はエコカー減税の対象に間に合うかどうか納期に大きな関心を寄せている。車種によってはタイの洪水の影響により納期の遅れも発生しており、例年のような年末にかけての活気が感じられない。

乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・先月に引き続き、来客数が増えている。メーカーの宣伝増大の影響もあるが、実際に注文の数も増えてきている。エコカー減税終了の話題も出てきているので、エコカー補助金終了の際に駆け込み需要があったように、減税終了に合わせて動いている客が多いようだ。ただ、工場への入庫数は減っており、収益的には厳しい状況は変わらない。	
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・受注量をみる限り、良くも悪くもなく変わらない。	
住関連専門店 (営業担当)	販売量の動き	・住宅エコポイント終了により持家住宅の動きが一段落していたり、会社関係の設備投資が厳しくなっている。リフォーム関係のみが好調である。	
高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・東日本大震災後の落ち込みから復旧したものの、来客数は減少が続き、客単価上昇によって辛うじて前年並みの売上を維持している。	
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数が減少している。寒さもあり、客足が鈍っている。	
一般レストラン (従業員)	お客様の様子	・景気は相変わらず低いレベルで安定している。今月は特に寒暖の差が激しく、また週末の天候も悪く、客は外食をしようという気にならない様子である。	
スナック (経営者)	来客数の動き	・来客数の動きに変化がない。	
観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・宿泊数については相変わらず好調を維持しているが、一般宴会においてはタイの洪水の影響も出始めており、この先も不透明である。忘年会の受注状況も芳しくない。	
都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・客の需要が増えている様子はなく変わらない。予約状況は3か月先もほぼ横ばいな状態となっている。	
旅行代理店 (経営者)	販売量の動き	・前年同月比を5%ほど割ったので、3か月前と比べて変わらない。	
旅行代理店 (経営者)	お客様の様子	・東日本大震災の影響による旅行離れは収束している。個人旅行の需要は復活しつつあるが、急激な円高の影響で、企業顧客が景気動向を注視するあまり、旅行を手控えている状況にある。	
タクシー運転手	お客様の様子	・今月は日本シリーズがあったので、当地域で試合がある日は比較的利用が好調であったが、暖かい日が続いたため、全体での利用は減少している。	
タクシー運転手	来客数の動き	・通勤時のタクシー利用が減少している。デパートのセール時の利用も前年に比べて減少している。	
通信会社 (企画担当)	販売量の動き	・解約数は落ち着きつつあるものの、低価格メニューを開始したにもかかわらず、新規契約は伸びていない。	
通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・光回線の普及に向けて、基本料金を買得にしたサービス開始に向けた準備を進めている。今後の期待があるが、年明け以降のサービス開始まで現状維持を続けている。	
通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・扱う商品に対する問い合わせ、注文等の照会等、ほとんど変化がない。	
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・平日に入込客数がやや上向きな曜日があるものの、土、日曜日の力強さに欠ける状況は変わらない。	
美容室 (経営者)	来客数の動き	・8、9、10月は客足が悪かったのが今月に期待していたが、寒くなってきたためか月の後半は前半よりも悪くなっている。	
美容室 (経営者)	来客数の動き	・毎年11月は売上が増加しない時期であるが、今年も同様に売上は変わらない。	
設計事務所 (職員)	それ以外	・国内や世界の景気に影響されて、客が金を使わなくなっている。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・復興支援・住宅エコポイントの対象期間となったが、受注量に大きな変化は見られない。	
やや悪くなっている	商店街 (代表者)	競争相手の様子	・相変わらず販売量が伸び悩んでいる。特に単価の高いものは全く売れなくなっている。同業他社が何件か廃業するとの話も聞き、景気が悪くなっている。
	商店街 (代表者)	お客様の様子	・特価時の来客数から判断すると、やや悪くなっている。
	一般小売店 [書店] (経営者)	来客数の動き	・寒暖の差もあり、夜の来客数が減少している。
	一般小売店 [贈答品] (経営者)	お客様の様子	・冬の到来が遅く来客数が減少している。お歳暮の早期販売をやっても盛り上がりがない。

百貨店（販売担当）	販売量の動き	・景気の変動や心理的なものというより、不安定で異常な気象、気温によって客の購買意欲が低下している。本来動くべきものは動いているが、売上点数が増加していない。ただ、自然条件による顧客心理への影響は年々大きくなっており、気温の低下で動き出す可能性がある。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・通常であればボーナス需要が出てくる頃であるが、今年は非常に少ない。ボーナス自体出ない、もしくは減額という客が目立っている。クリスマスプレゼントの下見も少なく、かつ単価が低くなっている。製造業中心の土地であるため、円高やタイの洪水の影響も感じられる。
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・月前半は高気温により冬物重衣料が不調であった。後半の気温低下により回復を見せるものの、前半のマイナスを補って来ていない。クリスマス商戦の前哨戦は低調な出だしとなっている。高額品の動きも鈍くなっている。
百貨店（営業企画・販売促進）	販売量の動き	・なかなか気温が下がらないため重衣料の売上が大幅に減少している。
百貨店（店長）	来客数の動き	・天候の冷え込みで衣料品は後半やや回復しているが、一般的に来客数が減っているため、生鮮食品を中心にやや悪くなっている。
スーパー（店員）	来客数の動き	・今月は更に来客数が減少しており、売上も減少している。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・買上単価、客単価が上がっていない。買い控えは続いている。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・近隣の競合店の影響もあるが、来客数、売上共に伸びていない。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・前年のたばこ増税の影響が今月もあって全体の売上は増加したが、弁当やドリンク等の主力商品の売上は前年より減少している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・プロ野球に関連したセールなどイベントはあったが客足に動きはなかった。今月は販売量並びに来客数が減少している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・菓子やパン類、アルコール飲料等の価格面でスーパーと競合しやすい部門は売上が減少し、やや悪くなっている。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・客単価と来客数の減少から、高価な商品が売れなくなっている。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・円高の影響が大きく、客の購買意欲はやや悪くなっている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月に関しては大幅に販売台数が減少しており、下方修正した目標でさえ達成率75%前後で推移している。
その他専門店 [雑貨]（店員）	単価の動き	・対前年で来客数はほぼ横ばいであるのに対し、客単価が20%ほど低下している。
スナック（経営者）	来客数の動き	・繁華街は全体的に人が少なく金曜日に集中している。景気に不安があるなか、客の財布のひもは固い。1人で来店する客が多く、飲食店は複数の客を確保するのが難しくなっている。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・客の動きが不安定であり、予約数も伸びていない。
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・年末年始の来客数増加を予想していたが、思ったより増加しておらず、低迷している。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月は比較的天候にも恵まれ暖かい日が多いが、入場者数は思ったほど伸びず、前年並みの入場者数にとどまっている。各ゴルフ場は少しずつ予算減といったところである。3か月前は暑い夏場であったが節電対策で大手企業が平日休業を行ったこともあり、入場者は多くあった。今月はゴルフシーズンのなかで最も入場者の多い月の割には来客数はやや悪くなっている。
美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・3か月前から始まったホームケアキャンペーンで買った客が、まだ次の購入に至っていない。
美容室（経営者）	お客様の様子	・消費税の増税論議によって客がお金を使わなくなっており、やや悪くなっている。
その他サービス [介護サービス]（職員）	販売量の動き	・サービス競争が厳しく、オーダー獲得に苦労している。

		住宅販売会社 (経営者)	それ以外	・所得が減少して銀行の融資が受けられないため契約に至らない。先行き不安があり、やや悪くなっている。
		住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・例年通り、年末にかけて来客数が減少している。タイの洪水の影響もあるのか、製造業の多い愛知県にいと財布のひもが固くなったと感じられ、やや悪くなっている。
		その他住宅〔住宅管理〕 (従業員)	お客様の様子	・今月初めに不動産フェアを行ったが客の反応が全くない。今月は非常に悪くなっている。
悪くなっている		商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数が減少し、これに比例して注文数も減少している。
		コンビニ(店長)	お客様の様子	・客が高齢化してきており、買い控えが顕著になり、売行きが悪くなっている。
		家電量販店(従業員)	販売量の動き	・前年はエコポイント効果が非常に販売量に寄与したが、今年はその反動が販売実績に大きく響いている。テレビ、冷蔵庫、エアコンの販売量そのものが前年に比べ異常に低く、売上そのものに影響を与えている。
		その他専門店〔貴金属〕(店長)	お客様の様子	・ブライダル事業である婚約指輪等の予算が減少しており、節約ムードが伝わってくる。若い客が以前に比べて金を使わなくなっている。
		一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・財布のひもが固く、更に厳しい状態になっている。
		通信会社(サービ担当)	販売量の動き	・光回線の受注率が大きく下回っている。
		パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数の動きをみると、悪くなっている。
		理美容室(経営者)	来客数の動き	・11月はもともと閑散期であるが、前年に比べて来客数が減っている。
		理容室(経営者)	お客様の様子	・景気の良い話がなく、悪くなっている。客の回転が悪く安価な店に流れている。
		住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・入札を希望する客が増え、価格競争が増し採算が悪くなっている。今までそれほど他社との差がなかったが、2割も安く作る会社が現れ、赤字になるだろうという金額で商売をしている。
	企業動向関連	良くなっている	窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き
		その他サービス業〔ソフト開発〕(社員)	取引先の様子	・派遣、要員を調達しても空要員がいない状況で、求人が増えている。
やや良くなっている		パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・全体的に仕事量が増加しており、受注量や販売量共に3か月前と比較して4、5%増加している。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・年末年始の広告出稿需要が増加している。ブライダル誌の出稿も増加している。
		輸送用機械器具製造業(品質管理担当)	取引先の様子	・客先の製造量が増加しており、良くなっている。
		金融業(法人営業担当)	取引先の様子	・衣料品小売では、省エネ志向もあり、防寒用の衣料が好調となっているほか、貴金属、アクセサリなどの小物類の売行きも堅調であり、良くなっている。
		その他サービス業〔広告印刷〕(従業員)	受注量や販売量の動き	・ほんの少しずつではあるが、受注量や問い合わせの電話の件数が増えてきている。
変わらない		化学工業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・東日本大震災後、海外からの在庫受注要請が一段落し、先月は平準化した。予算も一部下振れしたが、平均するとほぼ予算通りの動きとなっている。米国での需要は回復している。
		鉄鋼業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量は本年度のなかでは高いが、前年と比べると15%ほど減少している。復興の遅れや急激な円高による自動車業界への打撃によって、東海地区全体に悪い雰囲気を生んでいる。
		一般機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・タイの洪水で特需はあったが、他の地域の落ち込みをカバーするには至っていない。高価格品は売れず、利幅の少ない安い設備だけが売れている。
		電気機械器具製造業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・タイの洪水については当初の予想より影響が少なかった。円が高止まりとなっている事の方が影響が大きい。

電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・サプライチェーンへの影響は東日本大震災によるものは収束しており、タイの洪水による影響は微小である。海外、国内の需要動向は改善がなく、全体として変化がない。	
輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・円高による景気に影響され、全般的には既存受注は落ち込みがあるが、タイの洪水に伴う需要でそれを埋めている状態である。3か月前と変わらない。	
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・円高で発注量が減少しているが、タイの洪水で代替品の発注が増加している。	
建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規物件の売行きもまずまずである。世間一般で言われるほど、景気が落ち込んでいる様子はない。	
輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・軽油価格の高止まりで運輸事業の採算は引き続き厳しいが、消費財の物量は伸びている。単価は安いものの倉庫事業は安定している。	
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・発送、到着共に増加しているが3か月前と比べて変わらない。	
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・アジア圏の貨物の移動は堅調となっているが、欧米が減少しており、全体として変わらない。	
輸送業（エリア担当）	それ以外	・タイの洪水被害を受けて、輸入される製品や部品の動きが滞っている。この傾向が顕著になってきており、国内物流を停滞させている。取引先の話でも、部品供給が滞っており流通も低迷しているとのことである。	
通信業（営業担当）	取引先の様子	・従来は問題にならなかった投資までチェックが入るようになり、取引先的意思決定に時間がかかるのが顕著になってきている。相変わらず景気は厳しい。	
通信会社（法人営業担当）	取引先の様子	・景気が良くなる要因が見当たらない。現状維持に精一杯の感がある。	
金融業（従業員）	取引先の様子	・タイの洪水や東日本大震災などの影響で自動車関連が改善していない。	
金融業（企画担当）	取引先の様子	・円高の影響、欧州の信用不安により個人の投資家は損益が出ており、現金化して様子見している状態である。この3か月は動いていない。	
不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・価格の下落があるものの成約には至っておらず、3か月前と比べても変わらない。	
不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・事務所の新規需要が低下している。下降含みで判断すると、3か月前と変わらない。	
企業広告制作業（経営者）	それ以外	・景気は横ばいである。しかし明るい兆しも見え始めている。新規需要を掘り起こすのではなく、細かく多様化した消費者の好みに適応できる製品やサービスを提供することが景気をけん引する。	
広告代理店（制作担当）	受注価格や販売価格の動き	・不動産関係の受注が少しずつ増えてきてはいるが、売上自体はそれほど変わっていない。	
公認会計士	それ以外	・先月よりも今月の方が会計事務所の取引先の月次業績が良好となっている。しかし、欧州の信用不安、円高、国内産業の空洞化等の不安要素が中小企業に与える影響は、何ら解決していない。	
会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・決算に当たっては、黒字になるところが増えてきているが、経費の節減に努めた結果といえる。受注量は増えてきているが、まだまだ危機感は強く、景気が上向いていない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・例年に比べて気温も高い日が多く、食品製造業としては受注状況が芳しくない。更にデフレ傾向は依然として続いており、既存販売先での販売状況はやや悪化している。
	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・タイの洪水の影響で、タイ向け梱包資材の受注量が減少している。
	化学工業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・全般的に顧客の国内生産状況が低調で、需要が弱くなっている。
	窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・製品加工を依頼している取引先はどれも仕事量が半減し、交替で従業員が休んでいるところも出てきた。特に自動車関連の受注量が減っている。
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・業界内のどの企業も忙しく納期調整にとっても苦労している。プロジェクト完成が重なる来春まで忙しい。廃業が多く供給先が減っていることが背景にあるのだろうか。忙しくても利益にならず、やや悪くなっている。

	電気機械器具製造業（企画担当）	それ以外	・低価格の製品に関しては大きな売上減はないが、高価格の製品に関しては動きが悪くなってきている。円高の影響が出てきて、徐々に採算が悪化してきている。	
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注量や販売量の動き	・毎年恒例の新入社員の生産実習を一時的に休止するほど、タイの洪水の影響により生産量が落ち込んでいる。	
	建設業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・公共団体から発注される業務委託、並びに工事委託の数が前年に比べて減少している。	
	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・売上金額で3か月前より9.8%の減少、対前年比で29.1%の減少ととても大きく落ち込んでいる。前年10月頃は景気が持ち直しの状況であったが、今年は全く良くない。タイの洪水の影響と円高等で仕事が減ってきている。	
	不動産業（開発担当）	受注価格や販売価格の動き	・マンションの販売価格を当初の予定より下げざるを得ない物件も出てきている。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・地価の動向として、住宅地を中心に下落している。雇用水準が回復しておらず、消費者の購買意欲が弱く景気の先行きが不透明である。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・中小事業者には時代に乗れる業種と乗れない業種があるため、乗れない業種は特に悪くなっている。例えば、自動車のハイテク化が進み、町の修理工場では修理できない状況になっている。	
	悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・相変わらず販売価格が低下している。
雇用 関連	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・顧客の研究開発需要は引き続きおう盛である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・有料職業紹介での正社員採用の件数が増えてきている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・忘年会の需要が出てきて例年以上の求人依頼があり、良くなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・東日本大震災やタイの洪水の影響も今のところは軽微な状況であり、派遣社員の需要が回復している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・タイの洪水による増産や自動車産業の回復による求人が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・非正規については製造業を中心とする求人が増加している。派遣についても製造業における生産の取り戻しのために求人数が増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の増加傾向が続いており、良くなっている。
		職業安定所（次長）	採用者数の動き	・ここ数か月、採用者数が増加している。新規求職者数は減少傾向が続いているが、その結果、就職率が上昇している。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・前年同月や4～9月の上期に比べて求人数の増加が顕著となっている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人の動きが全くない。この状態がしばらく続いている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・10月末より派遣求人数が前年の120%以上に回復している。東日本大震災後や派遣社員の活用方針変更により採用抑制していた企業において、人手が足りない状態となり、求人の揺り戻しが起こっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は前年の102%、3か月前の109%、前月の90%となっている。自動車メーカーなどで一部回復の兆しはあるものの、中小企業を中心として事務職の採用は抑えられている。営業や販売職など職種によっては、求人数が増加傾向になってきている。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求職者は、前月比、前年同月比とも減少傾向となっているが、家事従事者、フリーター化した若年者、既卒の未就職者等の無業者は増加している。新規求人数は増加しているが、正社員の新規求人数は全体的に少ないため応募者が集中し、必然的に採用へのハードルが高くなっている。一方、派遣や期間工等の非正規求人は、従来6か月程度の契約更新となっていたが、3か月程度の短い契約更新が多くなっており、正社員を望む求職者の安定志向とはミスマッチが発生している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加しているが、派遣やパート等の非正規の比率が増加しており、正社員求人は伸び悩んでいる。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で見た場合の求人数の増加傾向及び求職者の減少傾向は続いている。ただし、タイの洪水により、一部の企業では部品の納入がストップした等の影響が出ており、単純に上向きとはいきれない。
	民間職業紹介機関（支社長）	採用者数の動き	・夏場に受けた求人依頼に対して順調に採用実績が出始めているものの、新規求人については慎重な姿勢も見受けられる。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	求職者数の動き	・前年まで増加していた理系学生のエントリーが減少してきている。これは本来の必然的な傾向であり、ここ数年が特異な状況だったといえる。ようやく理系学生本来の就職先となる製造業等において雇用回復が感じられる。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・新聞の求人広告量から見ると、この地区では少しずつ上向きだった景気が、タイの洪水以来、再び停滞している。
悪くなっている	—	—	—